

# 小学校教科等研修講座(算数科)

担当指導主事：村上 大介

キーワード：指導力向上 学習指導要領 主体的・対話的で深い学び 評価

## 1 実施概要

実施月日	授業者	場所・形態	演題（またはテーマ）
11月13日（火）	笹原小学校 村重 ゆかり教諭	伊丹市立笹原小学校 算数ルーム・授業	「図形の拡大と縮小（第6学年）」

## 2 主な内容

### (1) 「図形の拡大と縮小（第6学年）」

#### ① 授業研究

図形の弁別をする算数的活動を多くとることで、図形の拡大や縮小の関係は形自体では変わらないことを理解させたかった。そのため、導入部分で「図形くじ」のあたりとはずれの弁別を行い、どの子も興味を持って学習に取り組めるようにした。

② 子どもたちが本時の学習に意欲を持って取り組めるよう、個人→グループ→全体の流れで行った。また、グループで話し合う内容にするため、導入は難しめの問題を設定した。そうすることで、話し合う必然性を作った。

③ 振り返りを書かせる前に本時の学習でわかったことや大切に思ったことを言わせ、キーワードを全体で共有してから書かせるようにした。



### (2) 事後協議

① 導入で難しめの問題を与え、その後だんだん簡単にしていくやり方がよかった。

② 授業のテンポがよかった。全員立って考えたり、お互いの意見を交流したりとメリハリがあって、最後まで子どもたちを集中させるための工夫が随所にあった。

③ 振り返りにどんな言葉を書かせたらよいのかがわかった。



## 3 成果と課題

### (1) 成果

① 具体物操作を通して、子どもたちが理解を深めていくことを再確認できた。

② 導入において難しい課題を設定することで、子どもたちがやってみようとなる授業の流れづくりについて意見交流ができた。

③ 単調な振り返りにならないための手立てについて研修を深めることができた。

### (2) 課題

グループ活動で、話し合いが深まるにはどのような課題設定がよいか、今後研修を深めていく必要がある。